

論文審査の要旨

報告番号	甲 第 2584 号	氏 名	五味 範浩
論文審査担当者	主査	泉崎 雅彦 教授	
	副査	渥美 敬 教授	
	副査	稲垣 克記 教授	
(論文審査の要旨)			
<p>近年、ヨーロッパ諸国では変形性膝関節症(膝 OA)に対し、健康補助食品であるグルコサミンについての臨床研究が行われ、その有効性、薬物動態などが明らかになり医薬品として認可され、治療に使用されている。しかし、その作用機序に関しては不明な点が多く残されている。関節軟骨基質の変性には炎症性細胞、滑膜細胞、軟骨細胞などから産生される細胞外マトリックス分解酵素(MMP)等の酵素が重要な役割を果たしている。</p> <p>五味らは膝 OA 関節由来線維芽細胞を対象にグルコサミン塩酸塩(GH)の MMP 産生に及ぼす効果を細胞培養実験により検討した。その結果、線維芽細胞を TNF-α で刺激すると、培養上清中の MMP2, 3, 13 濃度は有意に増加したが、GH の存在下では、これらの MMP 産生は有意に抑制されること、MMP の内在性抑制因子である TIMP 産生には影響しないこと、さらに、GH は MMP mRNA 発現および NF-κB 産生を抑制することなどを明らかにした。</p> <p>これらの結果から五味らは GH の線維芽細胞からの MMP 産生抑制効果を示し、OA 患者の病態進展に対する生活指導の一環としての GH 摂取推奨の根拠を示した。</p> <p>本論文は新知見を有し、一同、学位論文に値すると判定した。</p>			
論文題名： 変形性膝関節症患者線維芽細胞の細胞外マトリックス分解酵素産生に及ぼすグルコサミンの効果			
掲載雑誌名： 「関節外科」Vol.32 NO.12 2013 年 11 月 掲載予定			